

注目1 マニフェストに関する施策事業の外部評価を実施しました

平成23年度に計画を立てた「マニフェストに関する施策事業」について、2年を経過したところで取り組みの状況について外部評価を実施しました。ここでは、外部評価の結果についてお知らせします。

評価者は、神野直彦氏(東京大学名誉教授・総務省地方財政審議会会長)、田島和生氏(自治会連合会会長)、須藤善次郎氏(コミュニティ協議会会長)にお願いしました。 **問**政策推進課政策推進担当(☎594-5503)

対象事業 今回外部評価を実施した事業は、98事業で、どれも平成23年度に計画を立てた市長マニフェストを実行に移した事業です。

全体評価 評価の結果、「実施済」が45件(46%)、「着手済」が48件(49%)、「未着手」が5件(5%)となりました。

個別意見

- ・事業を総合的に関連付けて取り組むことが必要。
- ・達成した事業について、どこまで踏み込むのかを具体的に考える必要がある。
- ・今後は必要性について、優先度を踏まえながら取り組むことが必要。
- ・リニューアルとあわせた学校耐震化によって、児童生徒が安心、充実した環境で学べるようになり、高く評価したい。
- ・施設整備の場合は、整備の時点で終了ではなく、その維持管理について継続した目標を設定して取り組むことが必要。
- ・自主防災組織を増やす際には、継続性を考慮する必要がある。

達成した施策事業の紹介

①高齢者・障がい者支援

(自動車燃料費・配食サービス・紙おむつ助成)【障がい者福祉課、高齢介護課】

自動車燃料費助成は、平成24年1月より、精神障害者保健福祉手帳1級所持者も対象に追加するとともに、平成24年4月より、助成金額を年2,000円から4,000円に拡充しました。配食サービスは、平成23年7月より、週2回から週3回にしました。紙おむつ助成は、平成23年4月より、1か月の上限を3,000円から6,000円にしました。



②プラネタリウム施設リニューアル【文化センター】

平成24年3月にじゅうたんを張り替え、宇宙空間をイメージした色で壁を再塗装しました。座席は幅を広くするとともに、親子で座れる二人掛けベンチ型シートも設置し、車いすでも観覧できるように可動式となっています。

③EV急速充電器の設置【くらし安全課】

充電インフラ整備のため、県の補助金を活用して、桜国屋に急速充電器(200V)を1台設置し、供用を開始しました。桜国屋が営業している、水曜日を除いた10:00~18:00の間に利用できます。

④街灯LED化の推進【道路課】

LED灯を使用した防犯灯を約440基設置しました。蛍光灯に比べ消費電力が半分以下になり、地球温暖化ガスの排出量削減になります。また、耐用年数も蛍光灯の1万時間程度に対しLED灯は6万時間程度であり、約10年間は交換が不要なことから、維持コストの削減にもなります。

⑤北本駅西口駅前広場の整備【道路課】

完成から約35年が経過し、施設の老朽化等の課題に対応するため、北本駅西口駅前広場をユニバーサルデザインの視点で改修しました。大屋根を設けたことで雨の日や強い陽射しの日に、バス等を利用する人の利便性が向上しました。また、多目的広場を設けることにより、駅前のにぎわいづくりにつながることも期待しています。



今後取組みを予定している施策事業の紹介

①防災拠点の強化・防災備蓄品等の充実 【くらし安全課】

市内の14か所の広域避難所については、平成25年度末までに、すべて耐震補強済みとなります。また、発電機や非常食の備蓄を継続して進めています。



②小中学校耐震補強および大規模改修事業 【教育総務課】

平成25年度末までに、市内すべての小中学校の耐震補強工事を完了するほか、教室にエアコンを設置します。



③パスポート業務の開始 【市民課】

平成25年11月より、平日および土曜日におけるパスポートの業務を開始します。これまで大宮駅付近の県パスポートセンターへ行く必要がありましたが、土曜日に市役所で申請、受け取りが可能となります。



④庁舎、児童館・こども図書館の建設 【政策推進課】

昨年11月に工事着手した新庁舎の建設も順調に推移し、いよいよ庁舎の骨組みになる鉄骨の組み立てが始まります。平成25年度も引き続き工事を進め、10月には、新庁舎での業務を一部開始します。また、その後に児童館・こども図書館の建設も始まります。新庁舎全体の完成は平成27年3月を予定しています。



図書館ニュース《新しくいった本》

※ここに載せているのは、新しくいった本の一部です。
※館内利用者端末にて新刊一覧を閲覧できます。

一般書・読み物

- 愛しいひとにさよならを言う
石井 睦美 (角川春樹事務所)
- 慟哭の家
江上 剛 (ポプラ社)
- 九死一生
小手鞠 るい (小学館)
- 蜂蜜秘密
小路 幸也 (文藝春秋)
- ローカル線で行こう!
真保 裕一 (講談社)
- 碧空のカノン
福田 和代 (光文社)



言霊 大伴家持伝
篠崎 紘一
(角川書店)

一般書・ノンフィクション

- 40代を後悔しない仕事のルール41
植田 統 (PHP研究所)
- 世界基準で夢をかなえる私の勉強法
北川 智子 (幻冬舎)
- 話したくなる!つかえる物理
左巻 健男 (明日香出版社)
- 連鎖する大地震
遠田 晋次 (岩波書店)
- 熱帯植物巡紀
田中 耕次 (誠文堂新光社)
- ルーヴル美術館の闘い
ジャック・ラング (未来社)



命によりそうということ
神谷 整子
(家の光協会)

人口の うごき

人口…69,172人(-21人)
男性…34,461人(-5人)
女性…34,711人(-16人)

世帯数…27,830世帯
※2月1日現在
※()は対前月比

今月の 納税

○今月の納税はありません。

人間ドック・脳ドック検診補助金交付制度

長い人生を健康で明るく暮らしていくためには、定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療を心がけることが大切です。市では、国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者に対し、人間ドック検診・脳ドック検診のいずれか一方に年一回補助金を交付する制度を設けています。

補助金交付制度

国民健康保険・後期高齢者医療加入者で、次のすべての条件に該当する人が、補助金の交付を受けられます。

《国民健康保険加入者》

- ①満30歳以上の人
- ②国民健康保険税を滞納していない世帯に属する人

《後期高齢者医療加入者》

- ①市に住民登録をしている人
- ②埼玉県後期高齢者医療保険料を滞納していない人
- ③人間(脳)ドックの検診日の属する年度内に、国民健康保険の人間(脳)ドック検診補助金の交付を受けていない人

検査項目

・**人間ドック**…血液、尿、循環器、消化器、呼吸器等の総合的な検診。ただし、国民健康保険加入者については、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査の健診項目をすべて含むもの。

・**脳ドック**…MRIおよびMRAの画像検査を含むもの。

補助額等 ①医療機関が定める検診料の7割(ただし上限2万円)を1年度につき1回交付。

②人間ドック検診・脳ドック検診のいずれか一方が1年度(毎年4月1日～3月31日)に1回交付されます。

申請方法

指定医療機関の場合 指定医療機関とは、桶川北本伊奈地区医師会の指定する医療機関で、下表(北本市内)のとおりです。受診する医療機関に直接予約をし、予約票を受け取ります。その後、予約票と印鑑、国民健康保険または後期高齢者医療制度の被保険者証を持参のうえ、保険年金課で申請手続きをしてください。申請受理後、「受給者証」を発行しますので、検診日に医療機関の窓口へ提出し、自己負担分をお支払いください。

指定医療機関以外の場合 医療機関で受診後、領収書、検診結果の写しと国民健康保険または後期高齢者医療制度の被保険者証、印鑑および補助金振込先の口座番号等がわかるものを持って、保険年金課で申請手続きをしてください。審査終了後、補助金を指定口座に振り込みます。※領収書と検診結果の写しについては、「人間(脳)ドック検診」と明記されていること。

☎保険年金課国民健康保険担当(☎594-5541)、後期高齢者医療担当(☎594-5542)

人間ドック検診指定医療機関(北本市)

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
安里医院	542-2629	鈴木医院	592-1313
天地クリニック	593-1762	遠井医院	591-2109
伊藤クリニック	593-5588	榎原外科医院	542-6582
北里大学メディカルセンター	593-1212	林田内科医院	592-7711
北本共済病院	591-7111	南福音診療所	591-7191
北本共立診療所	592-1641	山田医院	593-0353
北本中央クリニック	591-2257	山本内科医院	591-5025
さとうクリニック	590-5977	吉田医院	591-2200

※桶川市、伊奈町の指定医療機関については、保険年金課国民健康保険担当にお問い合わせください。

北里大学メディカルセンターは、人間ドック検診のオプションで頭部MRI・MRA検査を行うことができます。

注目3 新ごみ処理施設の建設および広域化 ～平成25年2月 北本市、鴻巣市、行田市で行うことで合意～

関くらし安全課廃棄物・リサイクル担当(☎594-5553)

(1) ごみ処理の現状

市では、家庭ごみ・資源類の8種類の分別収集をしています。このうちもやせるごみと粗大ごみを埼玉中部環境保全組合で焼却処理などしています。

埼玉中部環境保全組合は、北本市、鴻巣市、吉見町で構成されている一部事務組合で、ごみ処理施設(埼玉中部環境センター)は昭和59年に建設され、現在まで約29年が経過し、老朽化が懸念されています。新たなごみ処理施設の建設については大きな課題となっています。



埼玉中部環境センター

(2) 主な検討経過

埼玉中部環境保全組合を構成する2市1町で、平成19年7月から新ごみ処理施設の建設について検討を始めたところ、8市町村(行田市、小川地区衛生組合(小川町、嵐山町、滑川町、ときがわ町、東秩父村)、桶川市、東松山市)から広域化に関する申し入れがあり、埼玉中部環境保全組合を構成する2市1町を中心に、最大11市町村での広域化の枠組みを検討することとなりました。

検討の結果、平成24年9月に新たなごみ処理施設の整備については、埼玉中部環境保全組合の2市1町を中心とした広域化ではなく、新しい一部事務組合をつくって進めることとなりました。

なお、現在の埼玉中部環境センターについては、現施設が存続する限り、2市1町で運営していくことが確認されています。

(3) 今後の方向性

北本市は、鴻巣市、行田市とともに新ごみ処理施設の建設を進めることとしました。3つの一部事務組合と東松山市、桶川市が単独で行っているごみ処理が、北本市、鴻巣市、行田市で構成する枠組みと、東松山市、桶川市、吉見町、小川町、嵐山町、滑川町、ときがわ町、東秩父村で構成する枠組みの2組合に再編されることとなります。

《現在の枠組み》

○埼玉中部環境保全組合

構成団体 北本市、鴻巣市(吹上地域除く)、吉見町
人口 約18万3,000人

○彩北広域清掃組合

構成団体 行田市、鴻巣市(吹上地域)
人口 約11万5,000人

○小川地区衛生組合

構成団体 小川町、嵐山町、滑川町、ときがわ町、東秩父村
人口 約8万6,000人

○東松山市

人口 約9万人

○桶川市

人口 約7万6,000人

※人口は、平成25年1月1日現在

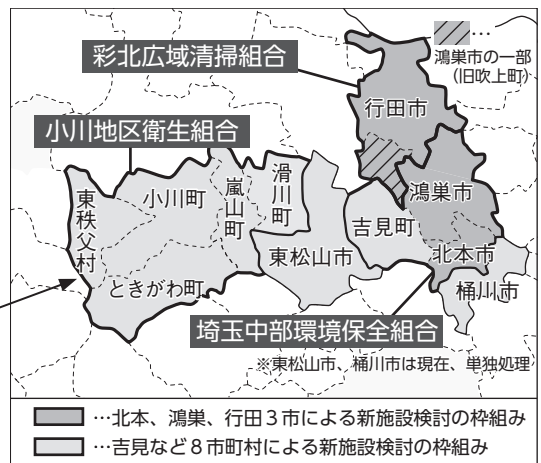
《新しい枠組み》

○3市

構成団体 北本市、鴻巣市、行田市
人口 約27万7,000人

○8市町村

構成団体 東松山市、桶川市、吉見町、小川町、嵐山町、滑川町、ときがわ町、東秩父村
人口 約27万2,000人



(4) 今後のスケジュール

今後は、北本市、鴻巣市、行田市で建設地の選定、一部事務組合の設立、焼却方式の選定、ごみの分別方法の検討、施設の建設等について協議しながら進めていきます。

